

情報大航海プロジェクト始動

経済産業省 商務情報政策局
情報処理振興課長
八尋 俊英

PROFILE

日本長期信用銀行にてIT/メディア系投資銀行業務に従事、その間LSEロースクール、ロンドン市立大メディア政策論修士号取得(1997年)、1998年ソニー入社、2001年通信サービスカンパニー事業企画室長、子会社(AII)常務取締役COOを経て、2005年経済産業省中途採用入省、07年7月より現職。

✉️ Yahiro-toshihide@meti.go.jp



デジタル化の時代、ネットワークを通じて日々情報が蓄積される時代、この膨大な情報にはIT化の進展により、世界中において、情報量の「大爆発」が起こっている。2002年には5エクサバイト（1ギガの10億倍）の情報 が人類によって産出されたというが、これは米国議会図書館の情報量の50万倍に相当する情報量だそうだ。

インターネットに限ってはこの情報のつなぎにおいて米国が先行、世界を席捲している。

1994年のネット革命以来、マイクロソフト、アップル、ヤフー、グーグル、アマゾン、ユーチューブ、セカンドライフ等、重要なネットの機能はすべてアメリカ企業が主導で動いている。技術大国と言われてきた日本であったが、現状では世界に発信できるIT企業はない。

金の投入が民間にも流れたことは周知の事実であり、グーグルなどの勃興につながっている。

米国においては、インターネット自体がDARPA（国防総省高等研究機関）の前身の組織ARPAによって構築された歴史があり、その後も基礎研究として年間数百万ドル以上のR&D委託が行われている。近年、DARPAは、短期志向のR&Dが求められ超大手企業でも中長期的なR&Dが低下しているという環境認識の下、数多くの企業・大学に、一企業では開発できない又は複数の産業に関連するため一企業では見出せない開発領域へ積極的にR&D支援を行っている。

コンピューターサイエンス系統のR&Dは大半が国防総省系であるため、全貌が明らかにされにくい、情報大航海プロジェクトに関連性が強いと考えられる技術開

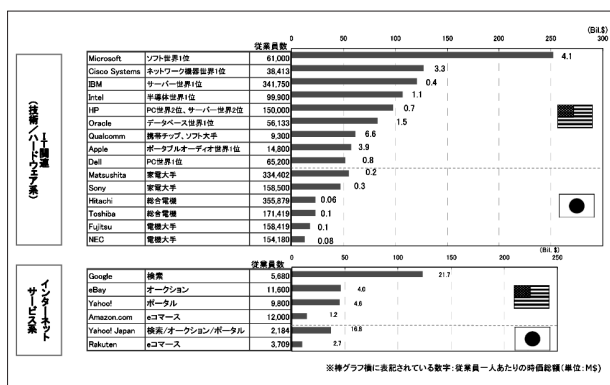


図1 日米IT企業比較 (みずほコーポレート銀行産業調査部)

その背景にインターネットの基礎となったARPAネット以来、米国国防総省をはじめとした膨大な政府開発資

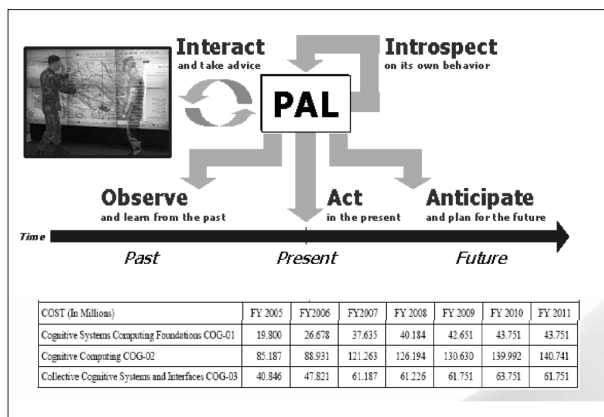


図2 DARPA PAL プロジェクト計画ビジョンと予算計画 (DARPA)

一を中心に産学の様々な分野の関係者が集まり、情報の検索・解析等に関する技術研究開発を促進することを目的とした「情報大航海プロジェクト・コンソーシアム」が設立されている。本コンソーシアムにおいて、民間企業等における具体的なサービスニーズの存在やサービスを実現する上で共通して取り組むべき開発領域の存在が

確認されており、次世代の検索・解析の方向性とも合致することが判明している。

こうした「研究会」や「コンソーシアム」での議論も踏まえると、「次世代検索・解析技術」とは、「環境や行動履歴などを基にユーザーの要求を的確に捉え、様々なネットワーク上の異なる企業や端末などから提供されて

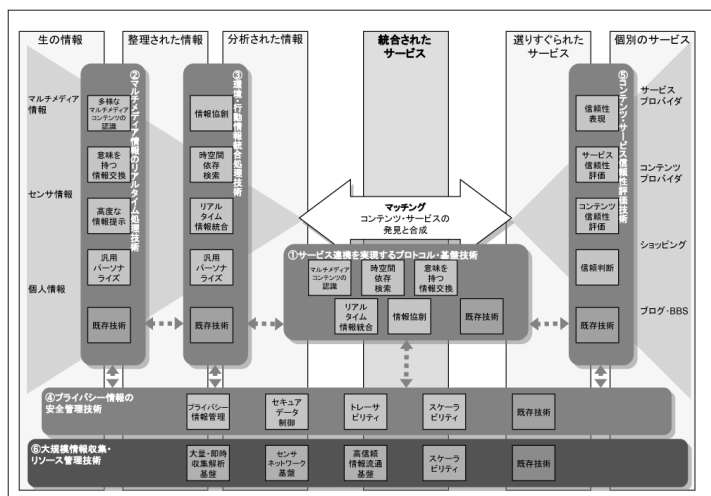


図4 共通技術の相関関係

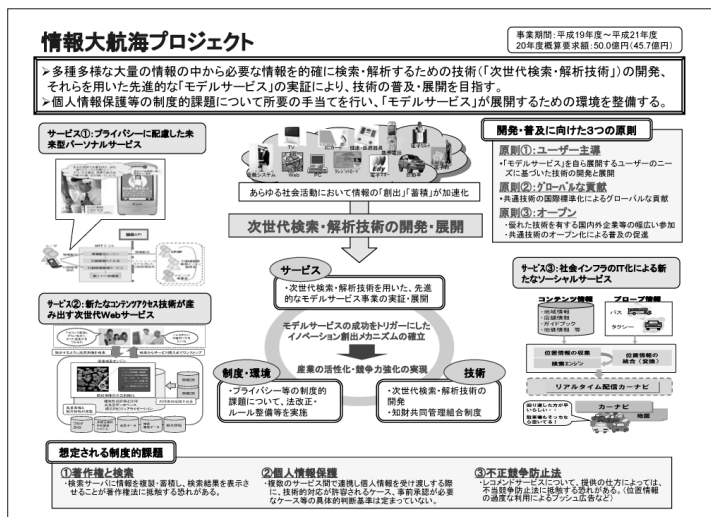


図5 情報大航海プロジェクトの全体ビジョン

いる様々なサービスや様々な情報の中から、利用者の求めるサービスや情報を連動させ組み合わせて提供する技術」と定義することができる。

本技術は、将来において多種多様な情報を活用した様々なサービスを展開する際に幅広く利用可能な技術（以下、「共通技術」という）により構成されるものである。具体的には、以下の6つの技術群を想定している。

- ① サービス連携を実現するプロトコロール・基盤技術
- ② マルチメディア情報のリアルタイム処理技術
- ③ 環境・行動情報の統合処理技術
- ④ プライバシー情報の安全管理技術
- ⑤ コンテンツ・サービス信頼性評価技術
- ⑥ 大規模情報収集・リソース管理技術

各技術群の内容と主な構成要素を図4に示す。（ただし、これらは現時点で想定されているものであり、開発過程においてその構成自体が変わる可能性もある。）

少子高齢化先進国の日本から、個人のニーズにあったカーナビ、テレビやケータイでガイドしてくれる仕組み、危険を回避する安心なシステムなど情報技術を駆使した次の社会を生み出すことは大変重要ではないか。

技術と社会のあり方を見通し人々に共感させるようなIT時代の宣教師を、欧米ではエバンジェリストというらしい。

あるべき社会を見据えて、必要な制度（著作権や個人情報保護関連）を提案する社会的な実証実験ともいえるプロジェクト^{*1}として遂行していく計画である。

^{*1} <http://www.igvpj.jp/>

